

益田甫 特が小説家。明治二十年神奈川縣生れ（一八九七）。大正四年獨逸協會學校中學校卒。十一年報知新聞社懸賞小説、「一等當選」。同年演劇研究のためドイツへ赴く。十二年歸朝、翌年、日活映畫文藝部顧問。昭和四年アメリカへ渡り劇場視察、翌年歸國、爾後文筆生活。

著書に『コルツボはだぎる』（第六版・昭和二年一月二十日双葉社）、

『新婚道中記』、『女難満塁』（昭和十年七月二十日ヤトリ社）『現代ユーモア小説

全集』（、『コズルリンの女達』（昭和十七年四月二十五日東成社）『エ

ーモア文庫』（、『戦は勝たねばならぬ』（昭和十七年六月五日錦城

出版社）『錦城新書』（、『釣こころどこころ』（昭和十七年十一月十五

日水産社）、『原田未一』、『戦育記』（益田甫記、昭和十八年一月二十日

水産社）、『夢に喰はれる男』（昭和十八年九月五日新元社）、『彦

さへ一代記』（昭和二十年一月二十日北光書房）、『加來艦長の最後』

（昭和二十年四月一日讀賣新聞社）、『スクール・ボーイ〜あわりの

想ひ出』（昭和二十一年四月五日民生書院）、『敗戦の女達』（昭

和二十一年六月一日ワリ〜ゴ書院）、『四季の釣』（昭和二十一年八月

五日右文社）、『松本幸四郎』、『藝談一世一代』（益田甫叢書、昭和二十二年

年七月十日右文社）等。

